

行政院國家科學委員會專題研究計畫 成果報告

「他動詞＋自動詞」類型的複合動詞之研究 研究成果報告(精簡版)

計畫類別：個別型
計畫編號：NSC 98-2410-H-004-184-
執行期間：98年08月01日至99年07月31日
執行單位：國立政治大學日本語文學系

計畫主持人：王淑琴

計畫參與人員：碩士班研究生-兼任助理人員：李郁玲
碩士班研究生-兼任助理人員：林彥成

公開資訊：本計畫可公開查詢

中華民國 99年08月13日

「他動詞+自動詞」類型的複合動詞之研究

一・目錄

一・目錄	P1
二・報告內容	P1
2-1 前言	P1
2-2 研究目的	P2
2-3 文獻探討	P2
2-4 研究方法	P3
2-4-1 關於資料收集	P3
2-4-2 「V1+上げる」「V1+上がる」的語意與衍生條件的關連	P4
2-5 結果與討論	P5
2-5-1 當「V1+上げる」表〈方向〉的意思時	P5
2-5-2 當「V1+上げる」表〈完成〉的意思時	P6
2-5-3 同時具〈方向〉和〈完成〉語意的「V1+上げる」	P7
三・參考文獻	P8
四・計畫成果自評	P9

二・報告內容

2-1 前言

先行研究已廣泛指出「他動詞+非對格動詞」類型的複合動詞(1a)是由相對

應的「他動詞+他動詞」類型的複合動詞(1b)所衍生的(西尾 1982、須賀 1983、影山 1993、松本 1998)。

- (1) a. 打ち上がる／吊り下がる／当てはまる／切り替わる
b. 打ち上げる／吊り下げる／当てはめる／切り替える

但是並非每個「他動詞+他動詞」複合動詞都能衍生「他動詞+非對格動詞」複合動詞，且也有因為受詞的不同而導致無法衍生的例子。

- (2) 見上げる－*見上がる／抱き上げる－*抱き上がる
(3) a. 鉄骨を吊り上げる／値段を吊り上げる
b. *鉄骨が吊り上がる／値段が吊り上がる

「他動詞+他動詞」和「他動詞+非對格動詞」的成對複合動詞中，數量最具優勢的是「他動詞+上げる」以及「他動詞+上がる」(本研究以「V1+上げる」「V1+上がる」表示)。本研究即以「他動詞+上げる」和「他動詞+上がる」為研究對象探討由「他動詞+上げる」衍生出「他動詞+上がる」的條件。

2-2 研究目的

如 2-1 所述，本研究以「他動詞+上げる」和「他動詞+上がる」為研究對象探討由「他動詞+上げる」衍生出「他動詞+上がる」的條件。

2-3 文獻探討

關於「V1+上げる」「V1+上がる」複合動詞的先行研究有姬野(1999)和朱(2009)。姬野(1999)只分析「V1+上げる」「V1+上がる」的語意，並沒有探討「V1+上げる」和「V1+上がる」之間的衍生條件。朱(2009)則指出了以下狀況能衍生「他動詞+非對格自動詞」的複合動詞：

- 容易衍生出「他動詞+非對格自動詞」的狀況
 - ① 不論後項動詞是否具有實質語意，前項動詞沒有實質語意
 - ② 前項動詞表示抽象概念，後項動詞擁有實質語意
- 不容易衍生出「他動詞+非對格自動詞」的狀況
 - ① 不論前項動詞是否具有實質語意，前項動詞表示物理性變化
 - ② 前項動詞表示抽象概念，後項動詞沒有實質語意

朱（2009）指出：前項動詞即使擁有實質語意，只要不表具體變化而是表抽象概念的話，仍舊容易衍生出「他動詞+非對格自動詞」。

(4) a. 荷物を積み上げる

b. *荷物が積み上がる (朱 2009: 95)

(5) a. 実績を積み上げる

b. 実績が積み上がる (ibid.)

但是也有朱（2009）無法解釋的反例存在。以下的例子中，前項動詞不僅有實質語意，同時也表具體變化而非抽象概念。

(6) 砂塵が巻き上がる

(「砂塵を巻き上げる」→砂塵を巻く)

(7) 勝利の瞬間、「やったー!」「よっしゃ!」の歓声とともに、無数のこぶしが突き上がった。(毎日新聞データファイル 1996/7/22)

(「こぶしを突き上げる」→こぶしを突く)

朱（2009）的說法同時也有為何存在①和②兩項衍生條件的問題。本研究的目的是在於找出既能說明上述反例，亦能具有一般性的衍生條件。

2-4 研究方法

2-4-1 關於資料收集

本研究的資料收集主要是利用 BCCWJ Corpus Monitor Data (2009 年度)、每日新聞 1996~2005 共 10 年份、新潮文庫 100 冊以及 CASTELJ 所公佈的語料庫來收集實例。網路上的例子由於較多週邊的實例，所以本研究只將其做為參用。

2-4-2 「V1+上げる」「V1+上がる」的語意與衍生條件的關連

同樣是「吊り上げる」這個動詞，卻有因為受詞的不同而導致無法衍生「V1+上がる」的例子。

(8) a. 鉄骨を吊り上げる／金利を吊り上げる

b. *鉄骨が吊り上がる／金利が吊り上がる

由這個例子我們可以知道表示〈方向〉的「V1+上がる」的衍生與否是取決於「V1+上げる」的整體語意，與前項動詞是何種動詞並無關聯。

相對於此，表〈完成〉的「V1+上げる」不會像表〈方向〉的「V1+上げる」一樣會因受詞的不同而導致無法衍生「V1+上がる」複合動詞。

(9) a. 生地を練り上げる／予算案を練り上げる

b. 生地が練り上がる／予算案が練り上がる

此外，表〈方向〉的「V1+上がる」需要符合「自然發生的事態」的條件（請參照次節說明），但是表〈完成〉的「V1+上げる」只要將焦點放在事態的結果便可以衍生出「V1+上がる」。

(10) a. *（船が吊り上げられたことを）船が吊り上がった。

b. （卵が茹で上げられたことを）卵が茹で上がった。

因此，與表〈方向〉的「V1+上がる」不同，衍生出表〈完成〉的「V1+上がる」是語構成內部的問題。由上所述可知，「V1+上がる」的衍生條件會因為「V1+上げる」的語意而有不同。

2-5 結果與討論

2-5-1 當「V1+上げる」表〈方向〉的意思時

「V1+上がる」(「他動詞+非對格自動詞」)由於不符合「他動性調和」和「主語一致」的複合動詞規則，其存在可以說是因為特殊的衍生條件才得以成立，以下即是「V1+上がる」的衍生條件：

- (A) 「V1+上げる」表自然現象
- (B) 「V1+上げる」表自然產生的事件
- (C) 「V1+上げる」表再歸用法

以下例句(11a)(12a)皆因為主詞是人類，所以無法衍生出(11b)(12b)，其中只有「(風が)砂を巻き上げる」可以衍生出「砂が巻き上がる」，因此我們可以得知(A)條件是成立的。

- (11) a. 見上げる／抱き上げる／拾い上げる／追い上げる
b. *見上がる／*抱き上がる／*拾い上がる／*追い上がる
- (12) a. 碗を巻き上げる／金を巻き上げる／砂を巻き上げる
b. *碗が巻き上がる／*金が巻き上がる／*砂が巻き上がる

接下來看(B)條件。例句(13a)的「船を引き上げる」由於主詞是人類，所以無法衍生出「船が引き上がる」，但是「金利を引き上げる」基本上是由市場機制決定，並非完全是人力操控，所以「金利が引き上がる」得以成立。

- (13) a. 船を引き上げる／金利を引き上げる
b. *船が引き上がる／*金利が引き上がる

「V1+上がる」的前面常常有條件節的出現，這是因為「V1+上がる」的成立需要「因為特定條件而自然發生的事態」。

(14)信用組合の一件当たりの融資限度額は出資金と法定準備金など自己資本の二〇%以内と法律で規定。出資金が増えれば、それだけ融資限度額も引き上がる仕組み。 (毎日新聞データファイル 1996/1/29)

朱(2009)曾提出前項動詞就算沒有實質語意，只要表抽象概念的話就有能衍生出「V1+上がる」，根據實例也印證了朱的說法。

(15) a. 鉄骨を吊り上げる (鉄骨を吊る) → *鉄骨が吊り上がる

b. 相場を吊り上げる (*相場を吊る) → 相場が吊り上がる

但也有即使 V1 擁有抽象概念，仍無法順利衍生出「V1+上がる」的例子。

(16) 手元の書類を取り上げる (手元の書類を取る)

→ *手元の書類が取り上がる

因此，「V1+上がる」的衍生與否跟 V1 是否表抽象概念並無絕對的關聯性。接下來看(C)條件。以下的例句中，主詞都是人類身體的一部份，全部都是再歸用法，而「V1+上がる」複合動詞也能順利地產生。

(17) a. 眉毛が吊り上がる / 手が振り上がる / 顔の肉が引き上がる

b. 眉毛を吊り上げる / 手を振り上げる / 顔の肉を引き上げる

由上所述可知表<方向>的「V1+上げる」能否衍生出「V1+上がる」並不是「V1+上げる」的語構成內部的問題，而是取決於「V1+上げる」整體所表達的事態意思。也就是說「V1+上げる」→「V1+上がる」這樣的衍生過程中必需滿足之前所說的條件(A)(B)(C)其中任一項。

2-5-2 當「V1+上げる」表<完成>的意思時

本研究中<完成>用法即是指以下可以跟限定的時間副詞共起的用法。

(18) 一時間で 茹で上げた / 染め上げた / 書き上げた / 焼き上げた

(18a)可視為<完成>的用法，但是(18b)根據姬野(1999)則是「強調」的用

法。

(18) a. 一時間で小説を読み上げた。

b. 大声で番号を読み上げた。

表〈完成〉的「V1+上げる」是由表〈方向〉的「V1+上げる」接尾辭化所演變來的。就如影山(1993)所述，表〈完成〉的「～上げる」「～上がる」雖是「語彙複合動詞」，其前項動詞和後項動詞呈現補文關係跟「統語複合動詞」是共通的。也就是說「茹で上げる」雖不是統語複合動詞，卻是【(卵を)茹でること】を上げる(=完成させる)這樣的補文構造。因此跟表〈方向〉的「V1+上げる」相比，表〈完成〉的「V1+上げる」意思是更具合成性且更透明。

表〈完成〉的「V1+上げる」欲衍生「V1+上がる」的複合動詞需要滿足以下條件：

- 「V1+上げる」的前項動詞必須是生產動詞。

奧津(1983)提到，「生產動詞」擁有〈始發〉和〈結果〉兩種意思，「～を～で」「～で～を」是其構文上的特徵。由以下的例句可知，前項動詞都是生產動詞，非生產動詞則無法衍生出「V1+上がる」。

(19) a. 一時間で (小説を) 書き上げた / (パンを) 焼き上げた

b. 一時間で (小説が) 書き上がった / (パンが) 焼き上がった

(20) a. 一時間で (本を) 読み上げた / (商品を) 売り上げた

b. *一時間で (本が) 読み上がった / (商品が) 売り上がった

2-5-3 同時具〈方向〉和〈完成〉語意的「V1+上げる」

本研究將「V1+上げる」的語意分為表〈方向〉和表〈完成〉進行分析，但有些「V1+上げる」同時擁有〈方向〉和〈完成〉這兩者語意。

(21) 杯を重ねるうち、ザリガニの殻は山のように積み上がる。

(毎日新聞データファイル 1998)

(22) しかも驚いたことに、彼の作業班は一日働いた後、五段目のブロックを積みあげる仕事もう少いで片づくことを知ると、他の班は作業を終えて工具をかえしに行っているにもかかわらず、その完成に向けて猛然と突進するのである。(中略)ようやく五段目が積みあがって仕事の終りがくる。(castelj)

(22)的「積み上がる」是表<完成>的意思，但是前項動詞「積む」本身有向上的語意存在，所以也可解釋成表<方向>。「積み上がる」要區分<方向>和<完成>有一定的困難，於是本研究提出以是否能用「できあがる」代換做為檢測方法。(21)因為代換成「できあがる」後文意會改變，所以沒有<完成>的語意。(22)的文意經過代換之後不會改變，因此可以視為擁有<完成>的語意。

(23) a. #杯を重ねるうち、ザリガニの殻は山のようにできあがる。

(ザリガニの殻の山を作ることを目標にする場合なら成立する)

b. ようやく五段目ができあがって仕事の終りがくる。

三・参考文献

- 奥津敬一郎(1983)「変化動詞文における形容詞移動」『副用語の研究』，pp. 317-339，明治書院・
- 影山太郎(1993)『文法と語形成』ひつじ書房・
- 朱春日(2009)「複合動詞の自・他対応について—派生に基づく対応を中心に—」『世界の日本語教育』，pp. 89-106，国際交流基金・
- 須賀一好(1983)「現代語における複合動詞の自・他の形式について」『静岡女子大学国文研究』17，pp. 328-340，静岡女子大学・
- 斎藤倫明(1989)「語構成Ⅱ 派生語」『ケーススタディ日本語の語彙』，pp. 58-65，桜楓社

- 角田太作 (1991) 『世界の言語と日本語』 くろしお出版・
- 姫野昌子 (1999) 『複合動詞の構造と意味用法』 ひつじ書房
- 松本曜 (1998) 「日本語の語彙的複合動詞における動詞の組み合わせ」 『言語研究』 114, pp. 37-83
- 西尾寅弥 (1982) 「自動詞と他動詞—対応するものとししないもの」 『日本語教育』 47, pp. 57-68
- Hopper, P.J. and S.A. Thompson. (1980) Transitivity in grammar and discourse. *Language* 56. pp. 251-99.

四・計畫成果自評

本研究以數量具優勢的「他動詞+他動詞(「V1+上げる」)」「他動詞+非對格動詞(「V1+上がる」)」為考察對象，但是其它諸如「一下げる」「一下がる」，「一重ねる」「一重なる」的成對動詞是否也有此現象還需要加以考察。

另外本研究所探討的對象是以成對的「V1+上げる」和「V1+上がる」複合動詞為主。其中也有像下面的例子，前項動詞接頭辭化和前項動詞與後項動詞一體化的實例存在，這些實例有成對，也有不成對的情況。

雰囲気を盛り上げる／雰囲気が盛り上がる

出発日を繰り上げる／出発日が繰り上がる

事件を持ち上げる／事件が持ち上がる

這種實例的衍生關係較為複雜，尤其是意思上無相對應的「持ち上げる」和「持ち上がる」並沒有辦法解釋成「持ち上がる」是由「持ち上げる」衍生而來的。這種實例之間的衍生關係需要利用通時的考察來釐清，這也是往後必需克服的一大課題。

附註：本計畫之研究成果已發表於以下論文

王淑琴 (2010) 「『他動詞+上げる』に対応する『他動詞+上がる』の派生条件」 『台灣日語教育學報』 第 14 期 pp. 102-128 台灣日語教育學會

無研發成果推廣資料

國科會補助專題研究計畫成果報告自評表

請就研究內容與原計畫相符程度、達成預期目標情況、研究成果之學術或應用價值（簡要敘述成果所代表之意義、價值、影響或進一步發展之可能性）、是否適合在學術期刊發表或申請專利、主要發現或其他有關價值等，作一綜合評估。

1. 請就研究內容與原計畫相符程度、達成預期目標情況作一綜合評估

達成目標

未達成目標（請說明，以 100 字為限）

實驗失敗

因故實驗中斷

其他原因

說明：

2. 研究成果在學術期刊發表或申請專利等情形：

論文： 已發表 未發表之文稿 撰寫中 無

專利： 已獲得 申請中 無

技轉： 已技轉 洽談中 無

其他：（以 100 字為限）

3. 請依學術成就、技術創新、社會影響等方面，評估研究成果之學術或應用價值（簡要敘述成果所代表之意義、價值、影響或進一步發展之可能性）（以 500 字為限）

本研究以「他動詞+ageru」和「他動詞+agaru」為考察對象，探討由「他動詞+ageru」衍生「他動詞+agaru」的條件。關於其衍生條件有諸多說法，本研究以「他動性」為切入視點，提供另一種新的說法。此外，本研究以語料庫中的實例為主要考察對象，所使用的實例較具說服力，亦可應用在日語教學上。

